

### 島ヶ峰の原風景を守る会

島ヶ峰の原風景を守る会は、地域の食文化や風景を次世代に残したいという地元有志により平成 28 年に結成された（構成員は現在 17 名）。

同会は、昭和 35 年頃に牧場として開墾され、その後キャベツ畑に再整備されたものの価格の低迷や生産者の高齢化によって長らく放棄されてきた標高 800～900m の荒廃農地を開墾し、冷涼な気候を活かして昔

からこの地域で栽培されてきたそばの栽培をはじめた。そば畑として蘇った美しい段畑を楽しむ花見会やそば栽培とそば打ちの体験など交流の取組が地域振興に繋がっている。



香川県まんのう町



島ヶ峰の段畑

#### 【土砂崩壊防止、景観の保全】

現在（令和 4 年度）までに荒廃地約 4.0ha を開墾し、造成された約 2.8ha の畑でそばを栽培している。まんのう町の支援により道も整備され、かつての荒廃地がそば畑として日々管理されることで土砂崩壊防止の防止に繋がっている。また、標高差 100m に広がる段畑は、秋には一面が白いそばの花で覆われ、美しい景観を形成している。

#### 【地域社会の振興】

例年 9 月末に開催している「そばの花見会」には 200 人ほどが訪れる。また、毎年 11 月～3 月の間に「川奥そばうち道場」を開き、地元そば粉を使ったそば打ち体験を実施している。さらに、令和 4 年 11 月には地元の廃校となった中学校を活用し、そばを提供する店舗の開設を予定するなど、町とも協力して「島ヶ峰そば」を特産品として PR している。

#### 【体験学習と教育】

町のグリーンツーリズムの事業により、そばの栽培体験を行っている他、地元学生にそばの作付け指導を行うなど、食文化を次世代へ継承する取組も行っている。



荒廃地を開墾しそば畑を造成



そばの花見会の様子



島ヶ峰そば